

司書講習科目の概要

科目名・単位数	時間数	実施方法	講義等の内容
(必修科目) 生涯学習概論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1.生涯学習・生涯教育論の展開と学習の実際 2.生涯学習社会における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携 3.生涯学習振興施策の立案と推進 4.教育の原理とわが国における社会教育の意義・発展・特質 5.社会教育行政の意義・役割と一般行政との連携 6.自治体の行財政制度と教育関連法規 7.社会教育の内容・方法・形態(学習情報の提供と学習相談、評価を含む) 8.学習への支援と学習成果の評価と活用 9.社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営と連携 10.社会教育指導者の役割
図書館概論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1.図書館の現状と動向 2.図書館の構成要素と機能 3.図書館の社会的意義(ユネスコ公共図書館宣言、地域社会と図書館を含む) 4.知的自由と図書館(図書館の自由に関する宣言等) 5.図書館の歴史 6.公立図書館の成立と展開 7.館種別図書館と利用者のニーズ 8.図書館職員の役割と資格 9.図書館の類縁機関・関係団体(文書館を含む) 10.図書館の課題と展望
図書館 情報技術論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1.コンピュータとネットワークの基礎 2.情報技術と社会 3.図書館における情報技術活用の現状 4.図書館業務システムの仕組み(ホームページによる情報の発信を含む) 5.データベースの仕組み 6.検索エンジンの仕組み 7.電子資料の管理技術 8.コンピュータシステムの管理(ネットワークセキュリティ、ソフトウェア及びデータ管理を含む) 9.デジタルアーカイブ 10.最新の情報技術と図書館
図書館 制度・経営論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1.図書館法(逐条解説) 2.他館種の図書館に関する法律等(学校図書館法、国立国会図書館法、大学設置基準、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律等) 3.図書館サービス関連法規(子どもの読書活動推進法、文字・活字文化振興法、著作権法、個人情報保護法、労働関係法規、民法等) 4.図書館政策(国、地方公共団体) 5.公共機関・施設の経営方法(マーケティング、危機管理を含む) 6.図書館の組織・職員(組織構成、館長の役割、人事管理、図書館協議会、ボランティアとの連携) 7.図書館の施設・設備 8.図書館のサービス計画と予算の確保 9.図書館業務・サービスの調査と評価 10.図書館の管理形態の多様化

科目名・単位数	時間数	実施方法	講義等の内容
図書館サービス概論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館サービスの考え方と構造 2. 図書館サービスの変遷(図書館法制定以降) 3. 資料提供サービスの基本(利用案内・貸出・予約サービスの流れと相互の関係) 4. 情報提供の形態と機能(レファレンスサービス、情報発信、講座・セミナー) 5. 図書館サービスの連携・協力(図書館ネットワークの意義と形態) 6. 課題解決支援サービス 7. 障害者サービス 8. 高齢者サービス、多文化サービス 9. 図書館サービスと著作権 10. 利用者に対する接遇・コミュニケーション、広報
情報サービス論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会と図書館の情報サービス 2. 図書館における情報サービスの意義と種類(レファレンスサービス、レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス、読書相談、利用案内等) 3. レファレンスサービスの理論(利用者の情報行動、レファレンスプロセス、事例の活用、組織と担当者、サービスの評価等) 4. レファレンスサービスの実際(レファレンスサービスの体制づくり・実施・普及、現状と問題点等) 5. 情報検索サービスの理論と方法 6. 各種情報源の特質と利用法 7. 各種情報源の解説と評価(参考図書、ネットワーク情報資源等を含む) 8. 各種情報源の組織化(二次資料の作成、情報発信を含む) 9. 発信型情報サービスの意義と方法 10. 図書館利用教育(情報リテラシーの育成を含む)
児童サービス論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達と学習における読書の役割 2. 児童サービスの意義(理念と歴史を含む) 3. 児童資料(絵本) 4. 児童資料(物語と伝承文学、知識の本) 5. 児童サービスの実際(資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等) 6. 乳幼児サービス(ブックスタート等)と資料 7. ヤングアダルトサービスと資料 8. 学習支援としての児童サービス(図書館活用指導、レファレンスサービス) 9. 学校、学校図書館の活動(公立図書館との相違点を含む) 10. 学校、家庭、地域との連携・協力
情報サービス演習 [2単位]	60	演習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報サービスの設計(レファレンスサービスの体制づくりを含む) 2. レファレンスコレクションの設備 3. レファレンスインタビューの技法と実態 4. 情報検索の技法と実際(各種データベースの検索演習や電子ジャーナルの活用) 5. 質問に対する検索と回答(質問の分析と情報源の選択を含む) 6. 発信型情報サービスの実際(パスファインダーの作成を含む) 7. 情報サービスの評価(レファレンス事例の作成・評価を含む)

科目名・単位数	時間数	実施方法	講義等の内容
図書館 情報資源概論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 印刷資料・非印刷資料の種類と特質(図書・雑誌・新聞、主要な一次・二次資料、資料の歴史を含む) 2. 電子資料、ネットワーク情報資源の種類と特質 3. 地域資料、行政資料(政府刊行物)、灰色文献 4. 情報資源の生産(出版)と流通(主な出版社に関する基本的知識を含む) 5. 図書館業務と情報資源に関する知識(主な著者に関する基本的知識を含む) 6. コレクション形成の理論(資料の選択・収集・評価) 7. コレクション形成の方法(選択ツールの利用、選定・評価) 8. 人文・社会科学分野の情報資源とその特性 9. 科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性 10. 資料の受入・除籍・保存・管理(装備・補修・排架・展示・点検等を含む) 11. 特別なニーズをもつ人々(障害者等)への情報資源提供
情報資源組織論 [2単位]	30	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報資源組織化の意義と理論 2. 書誌コントロールと標準化 3. 書誌記述法(主要な書誌記述規則) 4. 主題分析の意義と考え方 5. 主題分析と分類法(主要な分類法) 6. 主題分析と索引法(主要な統制語彙) 7. 書誌情報の作成と流通(MARC、書誌ユーティリティ) 8. 書誌情報の提供(OPACの管理と運用) 9. ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ 10. 多様な情報資源の組織化(地域資料、行政資料等)
情報資源組織演習 [2単位]	60	演習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 書誌データ作成の実際 2. 主題分析と分類作業の実際 3. 主題分析と統制語彙適用の実際 4. 集中化・共同化による書誌データ作成の実際 5. 書誌データ管理・検索システムの構成 6. ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際
(選択必修科目) 図書館情報資源特論 (学校図書館メディア論) [1単位]	15	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我が国における学校図書館行政 2. 学校図書館メディアの歴史(メディアの構成) 3. 学校図書館サービスの考え方と構造 4. 「直接的な教育活動」としての学校図書館 5. 学校図書館における学習・情報センターとしての機能 6. 児童生徒の言語力とメディア活用能力の向上 7. 「情報リテラシー」を育む学校図書館 8. 理想とする学校図書館づくり:環境整備、活用促進、地域との連携
(選択必修科目) 図書館基礎特論 (アーカイブズ特論) [1単位]	15	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文書館とアーキビスト 2. アーカイブズの歴史 3. 国際状況と規格化 4. レコード・マネジメント 5. 行政文書と地域史料の扱い 6. 電子情報と情報技術 7. アーカイブズ関連法令 8. 公開と不開示